

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ニューレジストン株式会社 岬工場	階数	地上1階
建設地	大阪府泉南郡岬町多奈川	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	40人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年11月 予定	評価の実施日	2022年1月18日
敷地面積	32,009 m ²	作成者	(株)三栄建設 一級建築士事務所池田 修也
建築面積	5,515 m ²	確認日	2022年1月18日
延床面積	5,589 m ²	確認者	(株)三栄建設 一級建築士事務所池田 修也



シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	外壁材、内装材は耐用年数の長いものを採用 躯体と仕上材が容易に分別可能(LGS+GB-R)	その他 無し
Q1 室内環境	無し	Q2 サービス性能 外壁材、内装材は耐用年数の長いものを採用
Q3 室外環境(敷地内)		BEI=0.38
LR1 エネルギー	躯体と仕上材が容易に分別可能(LGS+GB-R) 発泡剤を用いた断熱材を使用していない	LR2 資源・マテリアル 節水型器具の採用により水資源の保護に配慮
LR3 敷地外環境		光害対策ガイドラインの項目の過半を満たしている LCCO ₂ 排出率=70%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	ニューレジストン株式会社 岬工場 新築工事
	建設地	大阪府泉南郡岬町多奈川谷川
	用途/区分	工場

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B+
--------	----------------	--	-----------

①	CO2削減		4
---	-------	--	----------

②	みどり・ヒート アイランド対策		2
---	--------------------	--	----------

③	建物の断熱性		2
---	--------	--	----------

④	エネルギー削減		5
---	---------	--	----------

⑤	自然エネルギー直接利用		—
---	-------------	--	----------

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—	—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.2	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	2.0	2
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—

エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
------------------	----------------------	---------------	-------

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		